

駅前が変わる、まちが変わる。市有地発の地ビール醸造所がオープン！

一般社団法人 館林アーバンデザイン

■ 一般社団法人館林アーバンデザインの紹介

一般社団法人館林アーバンデザインは、深刻化する少子高齢化、人口減少、そして公共施設の老朽化や低未利用地の管理など、行政が直面しているこれらの課題に対し、官と民がともに館林のまちづくりについて考え、実行するための行政の補完組織として令和6年2月26日に設立されました。

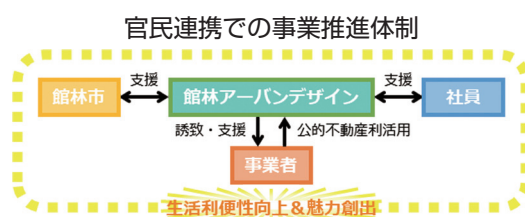
また、当法人の社員である館林市、館林商工会議所、邑楽館林農業協同組合、金融機関、市内の民間企業が緊密に連携する体制を整えており、柔軟かつスピード感のある事業推進に取り組んでいます。

■ 官民連携事業の仕組み

当法人は、誰もが便利で快適に暮らせるまちを創るため、低未利用な公的不動産への都市機能誘導を皮切りに、新たなまちづくりに取り組んでいます。

官民連携での事業推進体制としましては、館林市が保有する低未利用な公的不動産の活用をはじめとした行政が抱える課題について、解決に向けた調査・検討、市への提案を行い、当法人が主体となって実施事業をマネジメントしています。

具体的な事業としましては、「駅前広場直結のクラフトビール醸造所兼飲食店」、「障がい者支援施設とカフェが併設される公園」、「市営住宅跡地へのドラッグストア」の3か所の誘致が決定し、令和8年度から順次オープンを予定しております。



■ 「遠藤醸造所 ENDO BREWERY」について

「遠藤醸造所 ENDO BREWERY」は令和8年5月25日に開業した、公的不動産の利活用事業の第1号店舗で、館林駅西口駅前広場に面していることから、新たなまちのシンボルとして非常に多くの方で賑わっています。地ビール以外にもハンバーガーを始めとした自慢の肉料理を提供しており、カフェ利用やスポーツ観戦、貸切宴会でも利用できます。今後は、性別や世代を超えたコミュニティスポットとして、まちなかのにぎわいを創出してくれること間違い無しです。今年の夏は是非、館林駅西口にお越しいただき、美味しい地ビールと肉料理を堪能してください。

【営業時間】 午前11時30分から午後10時（不定休）

【席数】 店内35席、テラス席15席



店舗外観



店舗内観



自慢のハンバーガーとクラフトビール



■ これからの館林駅西側エリアについて

当法人が目指している館林駅西側エリアのビジョンは市有地や公園予定地などの公的不動産へ都市機能を誘導し、その効果を「点から線」、「線から面」に広げ、館林市立地適正化計画に基づく、コンパクトシティを推進するものです。

今後は、「遠藤醸造所 ENDO BREWERY」に続いて、市が整備する公園の中に障がい者支援施設とカフェが併設される（仮称）1号公園の整備が予定されています。

整備に際しては、地域住民の方々と意見交換を重ね、「どんな施設があったら良いか」、「どのように使いたいかな」などの意見を反映させた計画づくりを進めています。

また、エリアビジョン実現には公的不動産を活用するハード整備事業だけではなく、歩いて楽しめる仕掛けやエリア内の回遊性を高める取り組みも必要不可欠なため、今後は、公共空間の活用をはじめとしたソフト事業にも官民連携で取り組んでいきます。

■ おわりに

当法人は行政の補完組織として、行政が管理に苦慮する低未利用な公的不動産をまちの価値を高める「ポテンシャル（可能性）」として捉え、公的不動産の利活用を起点とした、エリア全体の価値向上に取り組んでいます。官民連携でチャレンジし続ける館林に今後とも注目ください。

